

令和3年8月18日

① 指定管理施設についての指標一覧の公表を求める陳情

浜田市では平成16年から指定管理者制度を導入していますが、指定管理者制度で運営する施設について、共通する一般的な指針「浜田市指定管理者制度運用ガイドライン」が令和2年3月に策定されました。

浜田市はすでに指定管理者制度で運営している施設について毎年モニタリングレポートを市のホームページで公表しており、利用状況や収支報告、課題や改善について示しています。しかし、指定管理者制度で運営している全施設について、様々な指標を横断的に一目で比較できる資料を公表していないため、施設同士の比較を行いたい場合、それぞれのモニタリングレポートをすべてチェックする必要があります。

各施設のモニタリングレポートと合わせ、全ての指定管理施設について利用状況や経営状況に関する指標を横断的に示したものを公表していただければ、極端に指標の数値の高いものや低いものについて、気付きやすくなり、さらなる改善につながやすくなります。

また、公共施設再配置等の検討時に、施設利用者一人当たりの管理コストや、そのうち受益者負担がどの程度なのかが一目で横断的にわかるため、将来にわたるサービスの維持提供のために「適切な受益者負担（利用料金の改定等）を求めることで、市の指定管理料（ランニングコスト）について将来にわたりどの程度縮小することが可能」といった分析が行いやすくなります。

公共施設であっても、受益者負担の原則は適用されなければならないため、横断的に指標を示すことで、維持管理に係るコストに対し極端に利用者一人当たりの負担が少ない施設については見直しを行うなど、市民への合理的な説明も行いやすく、市の支出抑制につなげることも期待できます。

複数の機能を持つ施設について（浜田東公園、三隅運動公園、サン・ビレッジ浜田等）は、施設の種別、機能ごとに算出することが可能であり、より公正公平な評価や改善指導を行いやすくなります。

全ての対象施設について、モニタリングレポートは作成されているため、その収支報告書の数字を使えば技術的な課題はありません。データはあっても活かしにくい現状なので、横断的に施設の運営や経営状況を比較できれば、さまざまな場面で利用しやすくなります。

施設によって設置の目的や規模、利用範囲も異なるため、必ずしもある指標について統一的な水準を目指すことは適切ではありませんが、そうしたことを分かった上で使えば良いので、指定管理者制度での運用施設について、市のホームページで指標を一覧で見れるような公表について指標の種類も含めて議論の上、執行部に善処要望下さいますようお願い申し上げます。

浜田市国分町 1689-1

三島 淳寛



※3 経営状況分析指標

| 項目 | 本年度〔平成〇年4～9（4～3）月〕 A | 前年度〔平成〇年4～9（4～3）月〕 B | 対比 A-B、A/B | 備考 |
|-----------------|----------------------|----------------------|---------------|----|
| ① 事業収支 | | | 、 (%) | |
| ② 利用料金比率 | | | 、 (%) | |
| ③ 人件費比率 | | | 、 (%) | |
| ④外部委託費比率 | | | 、 (%) | |
| ⑤利用者当たり管理コスト | | | 、 (%) | |
| ⑥利用者当たり自治体負担コスト | | | 、 (%) | |

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

| 項目 | 平成〇〇年 | 平成〇〇年 | 平成〇〇年 | 平成〇〇年 | 平成〇〇年 | 備考 |
|-----------|------------------|-------|-------|-------|-------|----|
| ①自己資本比率 | | | | | | |
| ②流動比率 | | | | | | |
| ③固定長期適合率 | | | | | | |
| ④総資産経常利益率 | | | | | | |
| 評価 | （以上の指標を参考に評価する。） | | | | | |

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

人件費比率

事業支出に占める人件費の割合を示し、計画と比較して過度な人件費の増加、圧縮がないかを確認する。一般的なガイドラインは約30%。

$$\text{人件費比率} = (\text{人件費} / \text{支出}) \times 100$$

外部委託費比率

支出に占める外部委託費の割合を示し、計画と比較して過度な外部委託を行うことで管理運営の弾力性を阻害していないかを確認する。

$$\text{外部委託費比率} = (\text{外部委託費} / \text{支出}) \times 100$$

利用者当たりの管理コスト

利用者1人あたりにどれくらいのコストが費やされているかを示し、当該施設の効率性を確認する。

$$\text{利用者当たりの管理コスト} = \text{支出} / \text{延べ利用者数}$$

利用者当たりの自治体の投入コスト

利用者1人あたりにどれくらい自治体の財政負担があるかを示し、公費投入の効率性を確認する。

$$\text{利用者当たりの自治体の投入コスト} = \text{指定管理料} / \text{延べ利用者数}$$

複合施設においては施設ごとに算出する方が有意義な場合もありますので、施設特性等を考慮して評価してください。

(3) サービスの安定性の評価のための指標

※① 経営状況分析指標（モニタリング項目のⅢ－2）

次の6つの指標を用いて「指定管理業務にかかる収支状況」について、施設の管理運営の効率性・安定性の確認を行います。施設ごとの特性等に応じて指標を追加することは可能です。

指標は、年度開始前の「計画数値」、年度終了後の「実績数値」を取得します。ただし、実態などに疑問を感じる場合は、必要に応じて年度途中でも数値の確認を行います。

指標1：事業収支（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうかを確認します。赤字の場合、管理継続性の面での課題を解決し黒字化のための方策を協議してください。

指標2：利用料金比率（利用料金収入／収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認してください。

指標3：人件費比率（人件費／支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認してください。

指標4：外部委託費比率（外部委託費合計／支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度のシフトをしていないか確認してください。

指標5：利用者当たり管理コスト（支出／延べ利用者数）

利用者一人当たりにかかる費用。前年度や計画時との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認してください。

指標6：利用者当たり自治体負担コスト（指定管理料／延べ利用者数）

利用者一人当たりにかかる自治体の費用。前年度や計画時との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認してください。